

令和6年度

事業報告及び財務諸表等

公益財団法人長岡市米百俵財団

令和6年度 事業報告書

I 事業運営

令和6年度は、「米百俵プレイス ミライエ長岡」での「米百俵」の精神や財団の活動をより一層、発信するとともに、令和8年度のみライエ長岡全館オープンに向け、長岡市や関係機関と協議しながら、「新しい米百俵」の理念にかなう人材育成事業の実施体制の検討を行った。

1 大学等奨学金貸与事業 【R6 決算額 貸付：89,650 千円 返還：79,866 千円 R5 決算額 貸付：78,250 千円 返還：95,134 千円】

大学生等に対して奨学金の貸付けを行った。

＜貸付人数（採用年度別）＞

令和2年度生1人	平成3年度生15人	令和4年度生28人
令和5年度生34人	令和6年度生35人	合計113人

2 新しい米百俵事業

子どもたちの視野を広げ、問題解決力や柔軟な発想力、自ら未来を切り拓く力を持つ人材を育成するため、様々な分野の講座を開催した。

(1) 米百俵未来塾（開府400年寄附金充当事業） 【R6決算額：4,495千円 R5決算額：4,246千円】

人材育成に取り組む市内の団体と連携し、「米百俵」の精神をはじめ芸術、スポーツなど全7回にわたる多面的な講座を開催した。

（対象者） 小学4年生～中学3年生

（参加者） 小学生45人、中学生3人、計48人

（講座） 令和6年7月26日～12月14日 全7回開催（開校式7月26日、修了式12月14日）

（共同主催団体） 長岡市芸術文化振興財団、長岡市国際交流協会、長岡市スポーツ協会、
ながおか・若者・しごと機構、まちなかキャンパス長岡

(2) 高校留学奨学金給付事業 【R6 決算額：2,430 千円 R5 決算額：800 千円】

青少年の国際相互理解を促進するとともに、将来、国際的に活躍する人材の育成を図るために、海外の高校に留学する高校生に対し、奨学金を給付した。

・長期（年間）留学に対する奨学金の給付

選考決定者数2人（応募者数2人）

（留学先）ニュージーランド、カナダ

・短期留学に対する奨学金について、新規の応募はなかった。

(3) 中学生海外体験派遣事業 【R6決算額：3,981千円 R5決算額：1,425千円】

長岡市国際交流協会と連携し、長岡市の姉妹都市への中学生海外派遣を行い、将来、国際的に活躍する人材の育成を図るとともに、事前研修で「米百俵」の精神を学ぶ時間を設け、現地での普及啓発に繋げる取り組みを行った。

<実施状況>

・ホノルル訪問

(参加者) 中学1年生 15人 (訪問期間) 令和7年1月13日から19日(7日間)

・フォートワース訪問

(参加者) 中学2年生 24人 (訪問期間) 令和6年10月12日から21日(10日間)

(4) 芸術・文化活動の体験 【R6決算額：458千円 R5決算額：525千円】

長岡市芸術文化振興財団と連携し「東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会」において一般より安価な特別席を用意し、長岡の子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を提供した。

(対象者) 小学4年生～中学3年生

(開催日) 令和7年1月18日(土) ※当初、11/24(日)開催予定であったが、指揮者の都合により延期となったもの

(会場) 長岡市立劇場 大ホール

(参加者) 150人

3 中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業 【R6 決算額：779 千円 R5 決算額：511 千円】

中小企業従業員派遣研修費助成金の交付 合計 14 人

(研修先) 長岡商工会議所 11 人、日本歯車工業会 2 人、新潟職業能力開発促進センター 1 人

4 「米百俵」書籍の頒布等による啓発事業 【R6 決算額 棚卸資産：3,635 千円 頒布収益 37 千円
R5 決算額：棚卸資産：4,033 千円 頒布収益 63 千円】

米百俵の精神の普及啓発のため、各種書籍等の頒布等を行った。

	書 籍 等	令和6年度状況
1	「米百俵 小林虎三郎の思想」	有料頒布 9 冊、献本 11 冊
2	ドナルド・キーン氏英訳 「One Hundred Sacks of Rice」	有料頒布 0 冊、献本 147 冊
3	米百俵読本「米百俵 小林虎三郎物語」	市内小学生配付 2,334 冊 有料頒布 13 冊、献本 58 冊
4	「米百俵—その先の未来へ—」	有料頒布 12 冊、献本 2 冊
5	アニメDVD「長岡の侍～米百俵～」	有料頒布 6 枚、寄贈 3 枚

5 「米百俵デー市民の集い」の実施 【R6決算額：36千円 R5決算額：903千円】

第5期米百俵未来塾修了生による活動報告を実施し、人材育成事業の取り組みや「米百俵」の精神を発信するとともに、上村龍文氏による講演会を実施した。

(開催日) 令和6年6月15日(土)

(会場) 米百俵プレイス ミライエ長岡 ミライエステップ

(内容) 第1部 米百俵未来塾修了生による活動報告

第2部 記念講演会 上村 龍文 氏(株式会社TKF 代表取締役・長岡市出身)

テーマ「未来を創る若者に：夢を現実に変える起業の力」

(参加者) 約 55 人

Ⅱ 財団運営

1 理事会の開催状況

第1回理事会（令和6年6月7日）

第1号議案 令和5年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 理事候補者の推薦について

第3号議案 評議員候補者の推薦について

第4号議案 奨学生選考委員会委員の選任について

第5号議案 会計処理規程の改正について

第6号議案 令和6年度定時評議員会の招集について

報告事項 理事長の職務の執行状況について、令和6年度奨学生の選考結果について
奨学金の返還等に関する細則について

第2回理事会（令和6年6月27日） ※決議の省略の方法による

代表理事（理事長）の選定について

副理事長の選定について

第3回理事会（令和7年2月28日）

第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 奨学金貸付規程の改正について

第3号議案 令和6年度第1回臨時評議員会の招集について

報告事項 奨学金返還の滞納状況について、理事長の職務の執行状況について、
米百俵未来塾の活動報告について、米百俵プレイス ミライエ長岡東館について
長岡市の中小企業人材確保奨学金返還支援補助金について

2 評議員会の開催状況

定時評議員会（令和6年6月27日）

報告事項 令和5年度事業報告について

第1号議案 令和5年度財務諸表等について

第2号議案 理事の選任について

第3号議案 評議員の選任について

その他 令和6年度第1回理事会決議事項について、令和6年度奨学生の選考結果について、
奨学金の返還等に関する細則について

臨時報告会議（令和7年3月24日）

報告事項 令和6年度第3回理事会決議事項について、奨学金返還の滞納状況について、
米百俵未来塾の活動報告について、米百俵プレイス ミライエ長岡東館について、
長岡市の中小企業人材確保奨学金返還支援補助金について

3 役員一覧（令和7年3月31日現在）

理 事 長：水流 潤太郎（1名、非常勤）

副理事長：金澤 俊道（1名、非常勤）

理 事：青柳 成俊、恩田 真弓、上村 龍文、ジョーンズ文穂、高野 真規、
武田 雅敏、長谷川雅一、原 和彦、平澤 則子、村山 光博（10名、非常勤）

評 議 員：石田 幸雄、大原 興人、小川 桂子、加藤 尚登、鎌土 重晴、
小林 啓之、佐々木順子、高橋 正則、広川 和義（9名、非常勤）

監 事：唐橋 浩輔、長津 和彦（2名、非常勤）

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	154,276	30,853	123,423
棚卸資産	3,635,030	4,032,615	△ 397,585
前払金	14,690	0	14,690
流動資産合計	3,803,996	4,063,468	△ 259,472
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	721,326,830	721,326,830	0
定期預金	8,639,000	8,639,000	0
普通預金	8,637,584	8,637,584	0
基本財産合計	738,603,414	738,603,414	0
(2) 特定資産			
奨学事業積立資産	503,187,595	525,153,928	△ 21,966,333
奨学金貸付金	606,239,250	596,455,300	9,783,950
特定資産合計	1,109,426,845	1,121,609,228	△ 12,182,383
(3) その他固定資産			
ソフトウエア	1,633,500	2,069,100	△ 435,600
その他固定資産合計	1,633,500	2,069,100	△ 435,600
固定資産合計	1,849,663,759	1,862,281,742	△ 12,617,983
資産合計	1,853,467,755	1,866,345,210	△ 12,877,455
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,208,023	909,369	298,654
流動負債合計	1,208,023	909,369	298,654
2. 固定負債			
長期未払金	1,633,500	2,069,100	△ 435,600
固定負債合計	1,633,500	2,069,100	△ 435,600
負債合計	2,841,523	2,978,469	△ 136,946
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	612,105,000	612,105,000	0
寄付金	1,238,521,232	1,251,261,741	△ 12,740,509
指定正味財産合計	1,850,626,232	1,863,366,741	△ 12,740,509
(うち基本財産への充当額)	(738,603,414)	(738,603,414)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,109,426,845)	(1,121,609,228)	(△ 12,182,383)
2. 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	1,850,626,232	1,863,366,741	△ 12,740,509
負債及び正味財産合計	1,853,467,755	1,866,345,210	△ 12,877,455

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,931,759]	[3,187,768]	[△ 256,009]
基本財産受取利息	2,931,759	3,187,768	△ 256,009
特定資産運用益	[964,584]	[324,584]	[640,000]
特定資産受取利息	964,584	324,584	640,000
事業収益	[29,681]	[46,876]	[△ 17,195]
書籍頒布収益	29,681	46,876	△ 17,195
受取寄付金	[13,894,149]	[10,781,224]	[3,112,925]
受取寄付金	13,894,149	10,781,224	3,112,925
雑収益	[7,705]	[15,730]	[△ 8,025]
受取利息	445	0	445
雑収益	7,260	15,730	△ 8,470
経常収益計	17,827,878	14,356,182	3,471,696
(2) 経常費用			
事業費	[17,403,891]	[13,839,474]	[3,564,417]
給料手当	2,232,599	1,581,421	651,178
福利厚生費	377,474	295,897	81,577
会議費	13,221	14,550	△ 1,329
旅費交通費	3,990,904	1,523,492	2,467,412
通信運搬費	162,144	214,402	△ 52,258
減価償却費	435,600	108,900	326,700
消耗品費	474,920	529,936	△ 55,016
印刷製本費	1,431,614	1,605,313	△ 173,699
使用料	376,100	439,700	△ 63,600
光熱水料費	14,559	7,826	6,733
賃借料	98,340	942,833	△ 844,493
保険料	18,476	16,185	2,291
諸謝金	2,102,083	2,292,182	△ 190,099
租税公課	400	0	400
支払助成金	779,100	510,500	268,600
支払給付金	2,430,000	800,000	1,630,000
支払負担金	20,000	21,315	△ 1,315
委託費	1,510,080	1,448,360	61,720
手数料	425,204	418,682	6,522
交際費	30,373	45,280	△ 14,907
広告宣伝費	480,700	1,022,700	△ 542,000
管理費	[423,987]	[516,708]	[△ 92,721]
給料手当	248,066	175,713	72,353
福利厚生費	41,941	32,877	9,064
会議費	2,985	1,229	1,756
旅費交通費	94,440	82,240	12,200

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	4,250	3,850	400
賃借料	3,300	13,789	△ 10,489
支払負担金	0	200,000	△ 200,000
手数料	9,005	7,010	1,995
交際費	20,000	0	20,000
経常費用計	17,827,878	14,356,182	3,471,696
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[1,153,640]	[1,335,341]	[△ 181,701]
受取寄付金	1,153,640	1,335,341	△ 181,701
一般正味財産への振替額	[△ 13,894,149]	[△ 10,781,224]	[△ 3,112,925]
一般正味財産への振替額	△ 13,894,149	△ 10,781,224	△ 3,112,925
当期指定正味財産増減額	△ 12,740,509	△ 9,445,883	△ 3,294,626
指定正味財産期首残高	1,863,366,741	1,872,812,624	△ 9,445,883
指定正味財産期末残高	1,850,626,232	1,863,366,741	△ 12,740,509
III 正味財産期末残高	1,850,626,232	1,863,366,741	△ 12,740,509

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[2,507,811]	[423,948]	[0]	[2,931,759]
基本財産受取利息	2,507,811	423,948	0	2,931,759
特定資産運用益	[964,584]	[0]	[0]	[964,584]
特定資産受取利息	964,584	0	0	964,584
事業収益	[29,681]	[0]	[0]	[29,681]
書籍頒布収益	29,681	0	0	29,681
受取寄付金	[13,894,149]	[0]	[0]	[13,894,149]
受取寄付金	13,894,149	0	0	13,894,149
雑収益	[7,666]	[39]	[0]	[7,705]
受取利息	406	39	0	445
雑収益	7,260	0	0	7,260
経常収益計	17,403,891	423,987	0	17,827,878
(2) 経常費用				
事業費	[17,403,891]	[0]	[0]	[17,403,891]
給料手当	2,232,599	0	0	2,232,599
福利厚生費	377,474	0	0	377,474
会議費	13,221	0	0	13,221
旅費交通費	3,990,904	0	0	3,990,904
通信運搬費	162,144	0	0	162,144
減価償却費	435,600	0	0	435,600
消耗品費	474,920	0	0	474,920
印刷製本費	1,431,614	0	0	1,431,614
使用料	376,100	0	0	376,100
光熱水料費	14,559	0	0	14,559
賃借料	98,340	0	0	98,340
保険料	18,476	0	0	18,476
諸謝金	2,102,083	0	0	2,102,083
租税公課	400	0	0	400
支払助成金	779,100	0	0	779,100
支払給付金	2,430,000	0	0	2,430,000
支払負担金	20,000	0	0	20,000
委託費	1,510,080	0	0	1,510,080
手数料	425,204	0	0	425,204
交際費	30,373	0	0	30,373
広告宣伝費	480,700	0	0	480,700
管理費	[0]	[423,987]	[0]	[423,987]
給料手当	0	248,066	0	248,066
福利厚生費	0	41,941	0	41,941
会議費	0	2,985	0	2,985
旅費交通費	0	94,440	0	94,440
通信運搬費	0	4,250	0	4,250
賃借料	0	3,300	0	3,300
手数料	0	9,005	0	9,005
交際費	0	20,000	0	20,000
経常費用計	17,403,891	423,987	0	17,827,878
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	[1,153,640]	[0]	[0]	[1,153,640]
受取寄付金	1,153,640	0	0	1,153,640
一般正味財産への振替額	[△ 13,894,149]	[0]	[0]	[△ 13,894,149]
一般正味財産への振替額	△ 13,894,149	0	0	△ 13,894,149
当期指定正味財産増減額	△ 12,740,509	0	0	△ 12,740,509
指定正味財産期首残高	1,783,933,300	79,433,441	0	1,863,366,741
指定正味財産期末残高	1,771,192,791	79,433,441	0	1,850,626,232
III 正味財産期末残高	1,771,192,791	79,433,441	0	1,850,626,232

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。ただし、取得価額と債券金額との差額に重要性が乏しい場合は償却原価法を適用しない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①ソフトウェア・・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、123,750円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	721,326,830	0	0	721,326,830
定期預金	8,639,000	8,639,000	8,639,000	8,639,000
普通預金	8,637,584	0	0	8,637,584
小 計	738,603,414	8,639,000	8,639,000	738,603,414
特定資産				
奨学事業積立資産	525,153,928	84,492,085	106,458,418	503,187,595
奨学金貸付金	596,455,300	89,650,000	79,866,050	606,239,250
小 計	1,121,609,228	174,142,085	186,324,468	1,109,426,845
合 計	1,860,212,642	182,781,085	194,963,468	1,848,030,259

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産 からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
基本財産				
投資有価証券	721,326,830	(721,326,830)	(0)	—
定期預金	8,639,000	(8,639,000)	(0)	—
普通預金	8,637,584	(8,637,584)	(0)	—
小 計	738,603,414	(738,603,414)	(0)	—
特定資産				
奨学事業積立資産	503,187,595	(503,187,595)	(0)	—
奨学金貸付金	606,239,250	(606,239,250)	(0)	—
小 計	1,109,426,845	(1,109,426,845)	(0)	—
合 計	1,848,030,259	(1,848,030,259)	(0)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	2,178,000	544,500	1,633,500
合 計	2,178,000	544,500	1,633,500

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券			
利付国庫債券 1 5 2 回 20年(額面 5 千万円)	50,240,000	48,657,150	△ 1,582,850
大阪府公募公債 3 9 8 回 10年(額面 3 千万円)	30,099,600	30,000,000	△ 99,600
新潟県公募公債 2 7 年度 1 回 10年(額面 2 千万円)	20,000,000	19,974,000	△ 26,000
福岡市公募公債 2 7 年度 6 回 20年(額面 3 千万円)	30,000,000	28,284,930	△ 1,715,070
利付国庫債券 1 5 7 回 20年(額面 4 千万円)	40,386,000	34,200,000	△ 6,186,000
福井県公募公債 2 8 年度 1 回 20年(額面 1 億円)	100,000,000	83,620,000	△ 16,380,000
利付国庫債券 1 6 4 回 20年(額面 9 千 9 百万円)	98,464,330	84,448,386	△ 14,015,944
利付国庫債券 1 7 0 回 20年(額面 1 千万円)	10,013,000	7,988,000	△ 2,025,000
利付国庫債券 1 7 4 回 20年(額面 2 千万円)	19,820,800	15,844,680	△ 3,976,120
利付国庫債券 1 7 8 回 20年(額面 5 千万円)	50,271,500	39,275,000	△ 10,996,500
利付国庫債券 1 7 9 回 20年(額面 8 千万円)	74,691,200	62,464,000	△ 12,227,200
地方公共団体金融機構債券 1 1 8 回 5年(額面 1 億円)	99,604,000	96,000,000	△ 3,604,000
地方公共団体金融機構債券 1 1 9 回 5年(額面 6 千万円)	58,734,000	57,445,860	△ 1,288,140
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券 1 2 6 回 5年(額面 4 千万円)	39,002,400	38,252,000	△ 750,400
特定資産 投資有価証券			
東京電力パワーグリッド(株)債 3 9 回 10年(額面 1 億円)	99,239,111	96,860,000	△ 2,379,111
東京電力パワーグリッド(株)債 6 8 回 5年(額面 1 億円)	100,168,417	98,610,000	△ 1,558,417
北陸電力社債 3 6 3 回 4年(額面 5 千万円)	49,714,750	49,525,000	△ 189,750
合 計	970,449,108	891,449,006	△ 79,000,102

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
奨学事業等寄付金充当による振替額	10,392,503
開府 4 0 0 年寄付金充当による振替額	3,501,646
合 計	13,894,149

計 算 書 類 の 附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の 2. において記載している。

2. 引当金の明細

該当事項なし。

財産目録

令和7年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金	第四北越銀行 長岡市役所支店他	運転資金として ゆうちょ銀行 振替口座 No.00600-0-17390 928 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2011487 152,687 大光銀行 本店営業部 普通預金 No.3584127 661 154,276	(154,276)
	棚卸資産	米百俵読本 3,924冊 英語版 189冊 日本語版「米百俵」 631冊 米百俵～その先の未来～ 1,854冊	頒布用出版物として 444,157 120,367 354,409 2,716,097	(3,635,030)
	前払金	SMBC日興証券	経過利息	(14,690)
	流動資産合計			3,803,996
(固定資産)	基本財産			【 738,603,414 】
	投資有価証券	利付国庫債券他	(共用資産) うち85.54%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.46%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 利付国庫債券152回(額面5千万円) 50,240,000 大阪府公募公債398(額面3千万円) 30,099,600 新潟県公募公債27/1(額面2千万円) 20,000,000 福岡市公募公債27/6(額面3千万円) 30,000,000 利付国庫債券157回(額面4千万円) 40,386,000 福井県公募公債28/1(額面1億円) 100,000,000 利付国庫債券164回(額面9千9百万円) 98,464,330 利付国庫債券170回(額面1千万円) 10,013,000 利付国庫債券174回(額面2千万円) 19,820,800 利付国庫債券178回(額面5千万円) 50,271,500 利付国庫債券179回(額面8千万円) 74,691,200 地方公共団体金融機構債券118回(額面1億円) 99,604,000 地方公共団体金融機構債券119回(額面6千万円) 58,734,000 鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券126回(額面4千万円) 39,002,400 小 計 721,326,830	(721,326,830)
	定期預金	大光銀行	(共用資産) うち85.54%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.46%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 大光銀行 定期預金 No.3620940 8,639,000 小 計 8,639,000	(8,639,000)

特定資産	普通預金	第四北越銀行 長岡市役所支店	(共用資産) うち85.54%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち14.46%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源とし ている。 (内訳) 第四北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.120648 8,637,584 小計 8,637,584	(8,637,584) 7,388,543 1,249,041
	奨学事業積立資産	第四北越銀行 長岡市役所支店他	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、米百俵 の精神に基づく人材育成事業の財源として使用している。 (内訳) 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.181494 10,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644 15,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.42660 202,459,999 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2035550 26,605,318 東京電力パワーグリッド(株)債39回(額面1億円) 99,239,111 東京電力パワーグリッド(株)債68回(額面1億円) 100,168,417 北陸電力社債363回(額面5千万円) 49,714,750 小計 503,187,595	【 1,109,426,845 】 (503,187,595)
	奨学金貸付金	奨学生433名	奨学金の無償貸与	(606,239,250)
	ソフトウェア	北銀ソフトウェア株式会社	奨学金管理システム	【 1,633,500 】 (1,633,500)
固定資産合計				1,849,663,759
資産合計				1,853,467,755
(流動負債)	未払金	北銀ソフトウェア株式会社他	奨学金管理システム保守料、米百俵未来塾活動報告書印刷製本費他	(1,208,023)
流動負債合計				1,208,023
(固定負債)	長期未払金	北銀ソフトウェア株式会社	奨学金管理システム	(1,633,500)
固定負債合計				1,633,500
負債合計				2,841,523
正味財産				1,850,626,232

監 査 報 告 書

令和7年5月28日

公益財団法人長岡市米百俵財団
理事長 水流 潤太郎 様

公益財団法人長岡市米百俵財団
監 事 唐 橋 浩 輔



公益財団法人長岡市米百俵財団
監 事 長 津 和 彦



私たち監事は、当法人の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。